

まちなか・おでかけパス事業の見直しについて

1 経緯

まちなか・おでかけパスについては、平成29年度のアンケート結果から、多くの高齢者がバスを利用していることがわかり、中心市街地の活性化や公共交通の利用促進に寄与していることが認められた。一方で、平成29年度に販売枚数が1万枚を超え、その分の補助金がなかったことや、実態としてかなり割安なパスとなっており、事業者側の負担が大きくなっていることから、制度を存続するため、これまで見直しの検討やバス事業者等との協議を行ってきた。見直しの方向性が定まったので報告します。

2 パス販売実績と平成30年度の販売状況

(単位：枚)

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30. 1月時点
販売枚数	8,092	8,764	9,341	9,645	9,867	10,136	10,351
対前年増		672	577	304	222	269	275

3 課題

- ・事業として、パス1枚の価値がかなり割安であるため、購入者が増加しているにもかかわらず利益が上がらないことや、「1万枚を超えた分」の補助金がない現行制度のままでは、事業を継続するのが厳しくなっている。
- ・一方で、本制度は、日中の比較的空席の多い時間帯の利用により、割安なサービスが提供できるという面があるが、朝夕の混雑時の利用が一定数あることから、運転士の負担緩和や定時性の確保が課題となっている。

4 見直しの方向性

- ・高齢者人口の増加に伴い、平成30年度も後期販売状況では、すでに1万枚を超え29年度より増加していることから、30年度、31年度について1万枚を超えた分にも補助金を出すよう補助額上限の見直しを検討している。
- ・利用者に日中時間（9時～17時）の利用（土日、祝日を除く）について協力を求める。なお、路線によっては、日中に適当な便がない場合や、混雑時に遅延等も想定されることから、そのような場合については利用できるような柔軟な対応とする。
- ・平成31年度以降も見直しは継続していく。

5 今後の予定

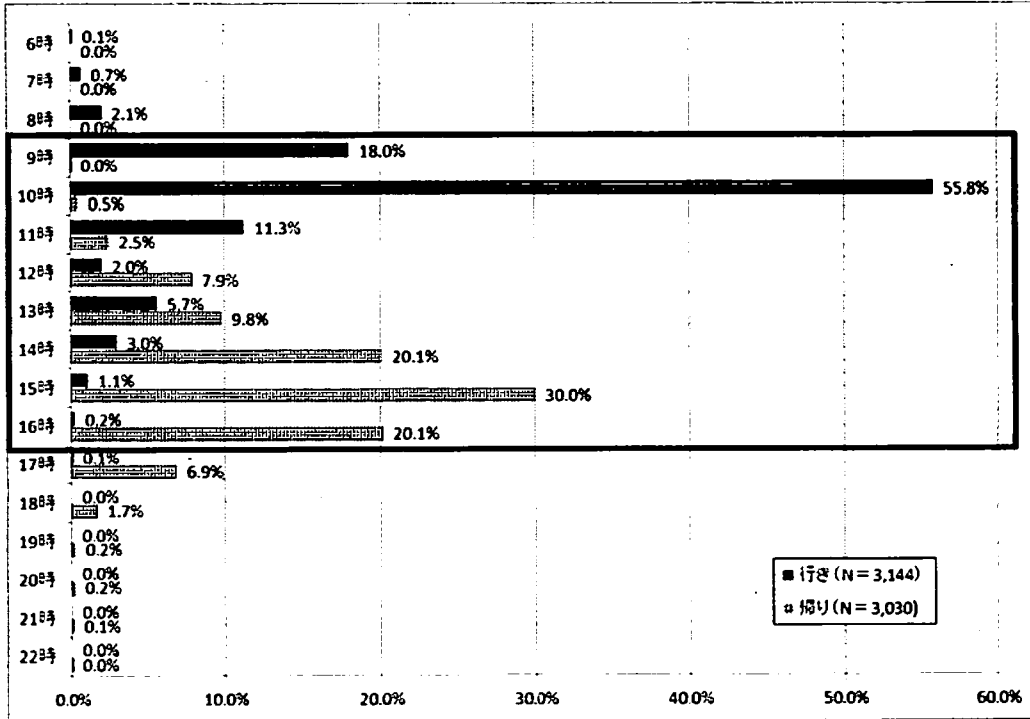
- ・4月 広報掲載（31年度前期販売）
- ・5月中旬～ 31年度前期販売
- ・6月1日～ 前期利用開始（11月30日まで）

まちなか・おでかけパス アンケート結果

質問 パスを使う目的別の時間帯（行き帰り）は何時頃ですか。

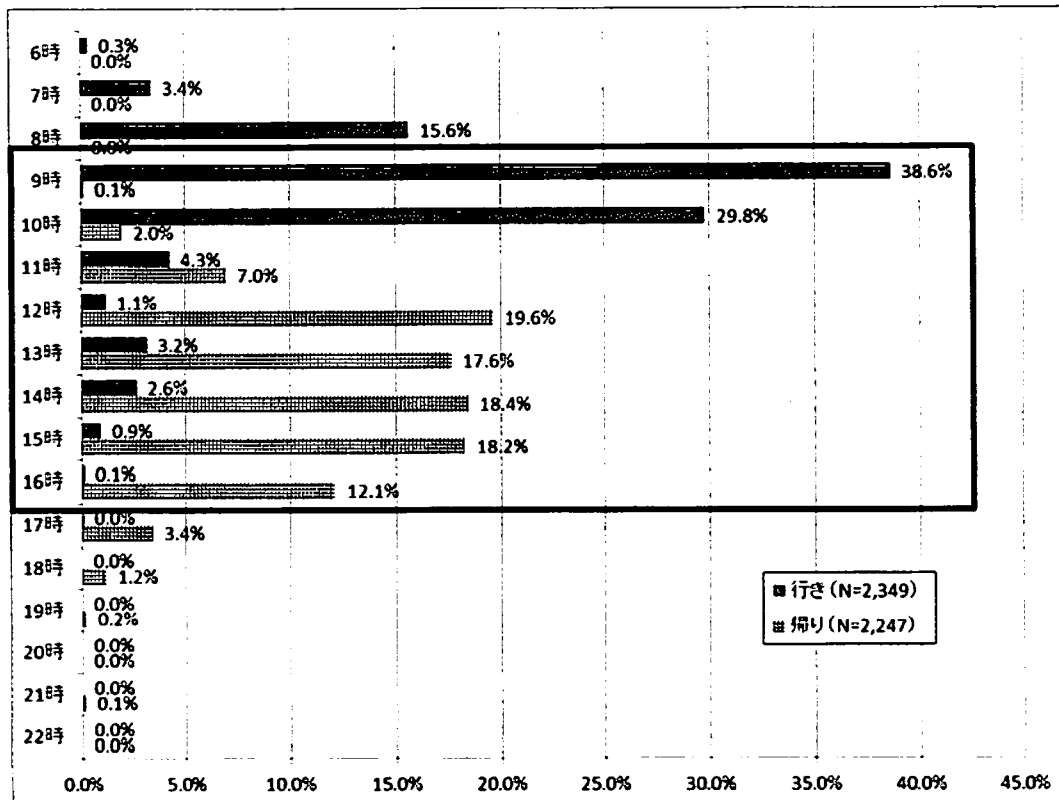
◆買い物目的のバス利用時間

10時台の出発、14～16時台の帰宅が多い。



◆通院目的のバス利用時間

9時台の出発、12～15時台の帰宅が多い。



◆その他目的のバス利用時間

10時台の出発、15～16時台の帰宅が多い。

